

発行責任者：貝原吉男 豊能郡豊能町ときわ台 5-1-5 (TEL 072-738-1900)

《参加者募集》

青春18きっぷの旅ご案内



播磨の小京都「龍野」に行きましょう

小山が散在している山紫水明の町龍野の散策を計画しました。川西から2時間ほどの乗車時間です。乗り換えも尼崎、姫路の2回です。龍野城、醤油資料館、赤とんぼ歌碑等見学し楽しみたいと思います。

皆さまお誘いあわせの上、多くの方のご参加をお待ちしています。

催行日 12月11日(月)

集合時間と場所 ① 8:40 ときわ台駅前 (8:50 出発)

② 9:25 JR川西池田駅改札前

行程 (行き) 川西池田駅発 9:37 ⇒ 尼崎駅 9:51 着 10:05 発 ⇒ 姫路駅 11:06 着
11:21 発 ⇒ 本龍野駅 11:43 着

(帰り) 本龍野駅 15:48 発 ⇒ 川西池田駅 17:55 着 予定

会費 青春18きっぷ代 2,400円

昼食は各自弁当持参ください

(龍野公園又は龍野城辺りで食事とします)

申し込み先 藤原 738-2358 二川 738-1278 木村 738-4773

締め切り 12月5日(火)



赤とんぼの歌碑



龍野城

高大豊能

秋の親睦グラウンドゴルフ大会に参加して

21期 中村 亨

10月24日(火) 台風の過ぎた2日後のふれあい広場は曇り空ながら暑くも寒くも無く、グラウンドはほとんど乾き、台風であれほど降ったとは思えないほどだった。

さて、13時 少ないながら14名が集合、藤原さんの挨拶、記念写真も撮り、4組に分かれて、2ラウンドのプレイ開始、我が組は岡田(忠)さん、正木さん、岡田(緑)さんと小生の4人。くじ引きで一番ホールスタートとなったが、これが最終ホールの8番でホールインワンが出て、逆転優勝の引き金となったものである。

スコアは 私が38、古家(史)さんが39、新島さんが40。何れも80才オーバーで、皆さんの敬老精神に感謝申し上げます。この前優勝したのはおぼろげながら、男女が別れていたときのように、今では忘却の彼方にあるようです。優勝者の写真では我ながら嬉しそうに写っていて、照れくさいくらいです。幹事の皆様何時もお世話いただき感謝感謝です。当日プレイされた皆様有り難うございました。



優勝の中村さん



本日の成績 (敬称略)

- 優勝 中村 亨
- 2位 古家史郎
- 3位 新島康平
- 4位 竹田登喜勇
- 5位 小林泰一

{参加者募集}

「歴史の会」座談会兼忘年会のご案内

歴史の会の一年間の締めくくりです。京都の古寺巡礼、高山右近の豊能検定等いろいろやってきましたが、締めくくりは座談会とカラオケの忘年会です。

次の通りです。会員でなくてもお時間のある方はご参加ください。

時と所 12月15日(金) 13:00~17:00 於:「サロン 鈴」

座談会 「私の好きな歴史上の人物」についてフリートーキング(約1時間)

カラオケ 14:00~17:00

会費 男性 1,000円 女性 700円

申し込み 古寺(738-6069) 木村(738-4773) 藤原(738-2358) 香川(738-1073)

二川(738-1278) 貝原(738-1900)

申し込み締め切り 11月30日(木)

地域交流



第5回囲碁交流会 開催

囲碁の会 香川 忠輝

囲碁の会では、MCS 囲碁クラブとの第5回交流会を10月20日(金)に西公民館で開催しました。

今回も熱気が溢れ、終始盛り上がった交流会となりました。

一昨年10月から始まったこの交流会も、前年3月に第2回、同じく10月に第3回そして今年の3月に第4回を行い、今回は第5回となりました。団体戦のこれまでの成績は「囲碁の会」の2勝1敗1分のスコアでしたが、今回は前回に引き続き「囲碁の会」が勝運に恵まれ6勝4敗と、僅差の勝利となりました。特に後半戦はMCS 囲碁クラブの激しい追い上げにあい、わずかの差で勝利を得ることができました。これで対戦成績は3勝1敗1分となりました。

団体戦の後は自由対局となり、ふだん対局していない方々との手合わせを楽しむことができ、他流試合の重要性を改めて認識した交流会となりました。

今後も、年2回のペースで交流会を開催いたします。

今回ご参加いただいた方々に厚くお礼申し上げます。



「歴史の会」報告

阪大で昼食を食べて、能勢街道をちょこっと歩こう！

歴史の会 貝原 吉男

10月20日（金） この日は朝から天候が心配でしたが、9：30には12名（男性4名、女性8名）が勢揃い、一路石橋へと向かいました。

石橋周辺は、能勢街道と西国街道の結節点として古くから栄えており、両街道の交わる現在の阪急宝塚線「西国街道踏切」付近にあった石の橋が地名の由来とのこと 全員“なるほど！”

まずは「大阪大学総合学術博物館」へ、この待兼山修学館は懐徳堂と適塾を源流とした知の集積であり「歴史・自然史・科学・文書館」の交流型ミュージアムとして阪大オリジナルを強く感じられる建物でした。適塾の塾頭を務めた福沢諭吉の写真、一万円札と一緒に！ 全員“こっち来い、こっち来い！”

1964年理学部建設現場から出土した、日本初の「マチカネワニ」の実物化石に 全員 “ウッソー、知らなんだ、メチャでっかい！”

時刻は11：40、「早よう行かんと学生で混んでくるがな！」の一言で記念撮影もそこそこに食堂へ！



「阪大バイキング」の安かったこと、なにせ1gなんと1.4円、5～6品食べてもご飯こみでワンコインぐらい！

全員厚かましくも学生ですよと1テーブルを12名で占領して、席空き待ちの学生諸氏をしり目に腹一杯！豚とキャベツの味噌和え、結構美味かった！ 全員“満足！”

その後、能勢街道を石橋商店街、二子塚古墳（5世紀後半）、水月公園を経て尊鉢厄神へ

8世紀後半、聖武天皇により創建された尊鉢神社はその歴史、規模もさることながら、その御利益にはたくさんの人々が全国から礼状を寄せられているとのこと “行ってよかった！”

そして男性陣は池田駅へ、なんと女性陣は川西能勢口駅へと向かいましたが、女性陣の健脚には男性一同 脱帽！能勢街道も喜んでいたことでしょう。

さて、今度は何処へ行きましょうか？





神々の遊ぶ庭 “大雪山”を訪ねて

25期 二川 芳子

山歩きの好きな私たち夫婦は、もう10年余りも前になってしまうが、北海道の大屋根“大雪山”を山麓の温泉宿に泊まりながら2泊3日で全てのピークを縦走する計画を立てた。ところが、その年、温泉宿がリニューアル工事で閉鎖となっていたので、断念した。それから、知らず知らず年を重ね、私の“故郷”の代表的な山を訪れずにいることが心残りになっていた。

丁度、ツアーの広告で“感動の大雪山「旭岳・黒岳」と銀泉台を歩く紅葉の旅”が目にとまった。これは、黒岳の五合目までロープウェイで登り、高松台から紅葉を眺めたり、旭岳のロープウェイで旭平に上り、旭岳山頂を眺めながら山麓を散策したりするコースであった。勿論、麓から自分の足で登ることが理想であるが、体力を考え、このツアーに参加することにした。

黒岳・旭岳へロープウェイの紅葉空中散歩、専門ガイドの説明を受けながら、銀泉台から第1花園まで歩を進め、眼前のスロープに広がるダケカンバの黄色、ナナカマドの赤色、エゾマツの緑色からなる錦絵のような絶妙な景観、見たこともないほど澄み切った青空のもと、チングルマの赤色とハイマツの緑色の絨毯の背後に聳える猛々しい旭岳の姿などを満喫する感動の連続であった。

丁度、2年前3度も北海道を襲った台風で頂上まで登頂できなかった十勝岳の噴煙も遠くに見え、連なる山々の大雪山系をアイヌ語で“神々の遊ぶ庭”と称したのが納得できた素敵な山旅であった。



旭平から旭岳展望



銀泉台の第1花園

豊能だより11月号 その2 に続く